

絹本着色阿弥陀二十五菩薩来迎図



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	けんぽんちやくしよくあみだにじゅうごぼさ つらいごうず
所在地	瀬戸内市牛窓町千手 遍明院
指定年月日	明治34年8月2日
解説	死後、極楽浄土に生まれることを願う信者の臨終に際し、阿弥陀如来がお迎えに来るところを描いた聖衆来迎図(しょうじゅらいごうず)。阿弥陀如来と二十五菩薩が画面いっぱいに広く飛来する情景は、豊かな情感があふれているが、ポーズや賦彩法、切金技法などは類型的で、鎌倉時代中期の作と推定されている。阿弥陀来迎信仰は平安時代に特に盛大で、多くの仏画が描かれた。
アクセス方法	
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	
備考	